

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	泉北高等学校
取り組む課題	D 生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	学習支援クラウドサービス活用の肯定率 87%以上 学校教育自己診断（生徒）における「相談体制」の肯定率 75%以上
計画名	ハニカム（honeycomb）プロジェクト

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画 の中期的目標		<p>1. 新しい時代のキャリア教育と進路保障</p> <p>（2）生徒一人ひとりの進路について、自ら目標を立て、可能性を追求し挑戦する態度を養い、学びの接続を理解し、実現できる生徒を育成する。</p> <p>ア 学習支援クラウドサービス（講義動画等）の活用や進学希望者対象講習の実施などの支援を行う。</p> <p>3. 自主性の向上と安全安心な学校づくり</p> <p>イ 安全安心に学校生活が送れるように、支援が必要な生徒などに係る情報共有を密に行い、組織的に対応するよう努める。</p>
事業目標		<p>（1）海外ルーツ生、課題や悩みを抱える生徒への組織的な対応に取り組み、教育相談機能を充実させる。</p> <p>（2）学習環境を中心に柔軟な対応および施設設備を整えることで、自己実現に向けた支援を行う。</p> <p>（3）自主的な学習への取組みを推進し、進路希望実現に向けた支援を充実させる。</p>
取組みの概要	整備する 設備・物 品	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の資質向上のための研修（講演やワークショップを年1回程度） ・ハニカム空間 ・空調
	前 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・「タスクフォース」を新たに立ち上げ、本校が抱える課題について整理した。 ・ICTを活用し、生徒の情報を迅速かつ正確に共有できる仕組みを整えた。 ・学習支援クラウドサービス（講義動画等）を導入し、段階的に活用した。
	初 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・直近の相談内容を整理し、傾向などの情報について共有を図る。 ・学習支援クラウドサービス（講義動画等）の効果的な活用について検討・検証する。 ・低学年を中心に、基礎学力や学習習慣に関する調査を行う。
	2 年 め	<ul style="list-style-type: none"> ・取組み1年めの成果と改善点について、校内で共有する。 ・学習支援クラウドサービスの活用実態を踏まえ、さらなる活用促進を図る。 ・教員研修を実施し、基礎学力や学習習慣に関して、経年変化や学年間の傾向を把握する。
	3 年 め	<ul style="list-style-type: none"> ・校内で対応可能な範囲と、外部連携が必要な範囲を精査する。 ・今後の校内体制を検討する。 ・学習支援クラウドサービスの効果的な活用方法を生徒間で継承する仕組みを作る。

			・教員研修を実施し、基礎学力向上や学習習慣改善に資する策を講じる。
	取組みの 主担・実 施者		主担：校長・教頭・首席・教育相談主担を中心に「教育相談委員会」「人権教育推進委員会」の2委員会と「保健部」「国際総務部」「教務部」「進路指導部」の4つの分掌ならびに「教育支援会議」を関連付けながら進める。 実施者：全教員
成果の検証方法と評価指標	初 年 度		支援を要する生徒による学習支援クラウドサービス活用の肯定率 50%以上
			支援を要する生徒による学校教育自己診断における「相談体制」の肯定率 50%以上
			特別選抜合格者への支援の満足度 50%以上
	2 年 め		支援を要する生徒による学習支援クラウドサービス活用の肯定率 50%以上
			支援を要する生徒による学校教育自己診断における「相談体制」の肯定率 52%以上
			特別選抜合格者への支援の満足度 52%以上
	3 年 め		支援を要する生徒による学習支援クラウドサービス活用の肯定率 50%以上
			支援を要する生徒による学校教育自己診断における「相談体制」の肯定率 54%以上
			特別選抜合格者への支援の満足度 54%以上